

富士^{ふじ}には、月見草^{つきみそう}がよく似合^{にあ}う。

その黄色^{きいろ}い花^{はな}は、静^{しず}かに風^{かぜ}に

ゆれている。

私^{わたし}は、じっとそれを見^みつめながら、

心^{こころ}の中^{なか}でつぶやいた。

「やっぱり、美^{うつく}しいな。」

太宰治^{だざいおさむ} 「富嶽百景^{ふがくひゃくけい}」 より